

## C I S P Rにおける最近の審議状況

### 5 F小委員会（家庭用電気機器・照明機器などの妨害波に関する規格を策定）

#### (1) 家庭用電気機器・電動工具等の妨害波規格（CISPR 14-1）の改定

規格全体の章立てが複雑になり、語句が古いものや文意がわかり難くなっているものが多くなっているため、記述を全面的にわかり易く見直す一般的修正と、放射妨害波測定時の配置条件やロボット掃除機の測定条件、電圧プローブ測定の代替測定方法となる電流プローブ測定の追加などの技術的修正を統合した第6版の審議が完了し、8月に発行された。今後は修正1の審議へと移行する。

修正1では、既に長く審議を重ねているIPTの導入に加え、ストレーザ会議で議題となったクリック測定方法の解釈の検討、80/80%ルールの取り扱いの検討が審議の中心となる。

#### (2) 家庭用電気機器・電動工具等のイミュニティ規格（CISPR 14-2）の改定

2015年2月に第2版が発行された。

#### (3) 照明機器等の妨害波規格（CISPR 15）の改定

第9版の2<sup>nd</sup>CDが発行された。第9版では、規格の構成を抜本的に見直すほか、電流プローブでの測定、放射妨害波許容値の1GHzまでの拡大などの技術的修正に加え、ポートやネットワークといった新しい概念が導入されている。

#### (4) ワイヤレス電力伝送システムの審議

CISPR14-1に、適用範囲であったIH式調理器の定義を拡張した「誘導式電力伝送機器（IPT）」として、許容値及び測定法を追加する第6版修正1として導入されることが決定している。第6版が発行されたので、杭州会議において修正1としての審議が本格化する。

我が国は審議開始時から多くの意見を提出しており、その多くが採用されている。

# C I S P R 杭州会議対処方針

## (4) F小委員会

### ア 家庭用電気機器・電動工具等の妨害波規格（CISPR 14-1）の改定

第6版が8月に発行されたため、今後は修正1の審議に移行する。

修正1は、既に審議が進んでいるIPTの導入に加え、前回ストレージャ会議で議題となったクリック測定方法の解釈、80/80%ルールの取り扱いの審議が中心となる。共にWG1においてTFが設置され、日本エキスパートが参加して審議が進められている。これらの他にも新しい議題が提案されることが予想されるため、状況に応じて対処する。

### イ 照明機器等の妨害波規格（CISPR 15）の改定

第9版の2<sup>nd</sup>CDが発行された。1<sup>st</sup>CDにおいて我が国から提案した意見の多くは採用されているが、伝導測定方法の適用可否の条件や測定配置などについて、更に意見を提出している。

我が国からの意見が反映されるよう対処する。

### ウ ワイヤレス電力伝送機器の審議

CISPR14-1第6版に、適用範囲であったIH式調理器の定義を拡張した「誘導式電力伝送機器（IPT）」として、導入されることが決定された。

現在は2<sup>nd</sup> DCに対する意見提出期間であるが、これまでの審議で我が国からも意見を積極的に提出し採用されているため、同DCに対する意見はエディトリアルなものに留まる。

本件は新しい技術に対する審議であり、今後も様々な考えが提案されてくることも予想されることから、必要に応じて我が国の考えを説明し理解を得られるよう対処する。